

# 水土里ネット内灘

内灘町は、石川県の中央部に位置し、日本海と河北潟に面した海岸砂丘と干拓地からなる。内灘の地名の由来は、砂丘北方の七塚（ななつか）に対して、内七塚と呼ばれたことと、能登半島に沿って北上する対馬海流でも潮の速いところから、海の難所の意味で「なだ」と言われたと伝えられている。

この地域は、河北潟に沿う低湿地水田地帯で、昭和34～36年にかけて埋立事業により河北潟の一部を埋め立て、農地を造成した。また、昭和39年からは、漏水防止のビニール水田や畑も増設していった。しかし、もともと地盤が緩い地形のため、経年の圧密沈下により地下水位の上昇や降雨時の湛水等による営農上の支障が大きくなってきた。そのため、平成元年に大根布、北部、向粟崎、砂丘の4土地改良区が内灘町土地改良区に合併したのを機に浅野川流域の砂や金沢港から汲み上げた泥などを利用し、水田を客土して営農基盤を整備した。その後、平成10～15年にかけて県営ほ場整備事業（内灘北部地区）を実施し、河北潟の浚渫土や公共事業残土を利活用した客土工事を実施した。このときに、用水路のパイプライン並びに自動給水栓化、排水路整備を行い、農地の汎用化を図ることで低コスト農業経営の確立が図られた。その他、畑地砂丘地に広がる畑地地帯では、畑かん施設の老朽化による機能低下を補うため、平成17年度より維持管理適正化事業で順次整備補



承水路横の除草作業



修している。

また、同町は、金沢市のベッドタウンとして市街地が進展しており、その都市排水も河北潟調整池に流入している。このことから下流域の水田では町との排水調整が必要であり、排水維持管理を通じ農業と都市の共存を図っている。



住所	河北郡内灘町 鶴ヶ丘2-161-1
設立年月日	平成元年4月1日
受益面積	149ha
理事長	米田 満
組合員数	931名
職員数	2名
	(平成20年10月1日現在)

編集兼：小林善隆  
発行人

金沢市古府1丁目197番地  
石川県土地改良事業団体連合会  
電話 076-249-7181

印刷所：(株)谷印刷



石川県土地改良事業団体連合会